

進路決定状況と進路選びに関する調査

「キャリアス進学」では高校生の進路選択に関するアンケートを実施しております。

今回は全国のキャリアス進学会員の高校生（*2023年3月時点）に進路決定状況と進路選びについて尋ねました。コロナ禍を経て受験や勉強、進路選びがどう変化しているのか、過去3年の調査結果と比較し、高校生の進路選びを考察しました。

今回の調査では、「新型コロナウイルス感染症」の影響が減少している様子が見られたほか、コロナ禍以前の水準には及びませんが、高校生の進路検討に向けた活動が活性化した様子がみられました。

また年内入試利用が一般入試利用割合と拮抗してきており、年内入試利用の理由として早く確実に合格を勝ち取りたいことや、受験料の節約という理由が増加していました。今後は、物価高騰による家計状況の影響や、2025年度新課程導入による大学入学共通テストの変更などの要因も相まって、年内入試利用層はさらに増えるとみられます。それにより、志望校選定や利用する入試方式の選定における情報収集も早期から始まっていくのではないのでしょうか。

高校3年生が進路を検討するなかで活用した情報源としては、「入学案内パンフレット」や「学校ホームページ」といった学校公式ツールの活用度合いが高い反面、「もっと知りたかった情報」としては「先輩の受験の体験談」「実際の大学生の声」など公式ツールだけでは分からない、「先輩の生の声」が多数挙がっていました。

教育理念や学びの内容といった学校情報にプラスして、学生たちのリアルな受験体験や学生生活の様子が垣間見えるような情報や機会が求められてきているようです。

実査期間 : 2023年3月22日～2023年4月4日

調査方法 : インターネット調査

対象者 : キャリアス進学会員の高校1～3年生（*2023年3月時点）

有効回答数 : 794名（高校3年生：341名／高校2年生：299名／高校1年生：154名）

調査機関 : 株式会社ディスコ キャリアス進学編集部

《過去実施の調査概要》

●2020年3月（2020年3月時点の高校1～3年生） 有効回答数787名（高校3年生：271名／高校2年生：327名／高校1年生：189名）

●2021年3月（2021年3月時点の高校1～3年生） 有効回答数758名（高校3年生：327名／高校2年生：273名／高校1年生：158名）

●2022年3月（2022年3月時点の高校1～3年生） 有効回答数995名（高校3年生：337名／高校2年生：436名／高校1年生：222名）

※2020年03月調査の「総合型選抜（AO入試）」には「AO入試」の数値を、「学校推薦型選抜（指定校）」には「指定校推薦入試」の数値を、「学校推薦型選抜（公募・自己など）」には「その他推薦入試（公募・自己など）」の数値を、「大学入学共通テスト利用入試」には「センター試験（大学入学共通テスト）利用入試」の数値を、「一般選抜」には「一般入試」の数値をそれぞれ掲載。

※2021年03月調査の「総合型選抜（AO入試）」には「総合型選抜（IBAO入試）」の数値を、「学校推薦型選抜（指定校）」には「学校推薦型選抜（指定校）（旧推薦入試）」の数値を、「学校推薦型選抜（公募・自己など）」には「学校推薦型選抜（公募・自己など）（旧推薦入試）」の数値を、「大学入学共通テスト利用入試」には「大学入学共通テスト（旧センター試験）利用入試」の数値を、「一般選抜」には「一般選抜（旧一般入試）」の数値をそれぞれ掲載。

1 高校3年生の進路決定状況

2023年3月時点の高校3年生に進路決定状況と受験校数を尋ねました。

(1-1)2023年4月からの進路

2023年4月からの進路について尋ねました。

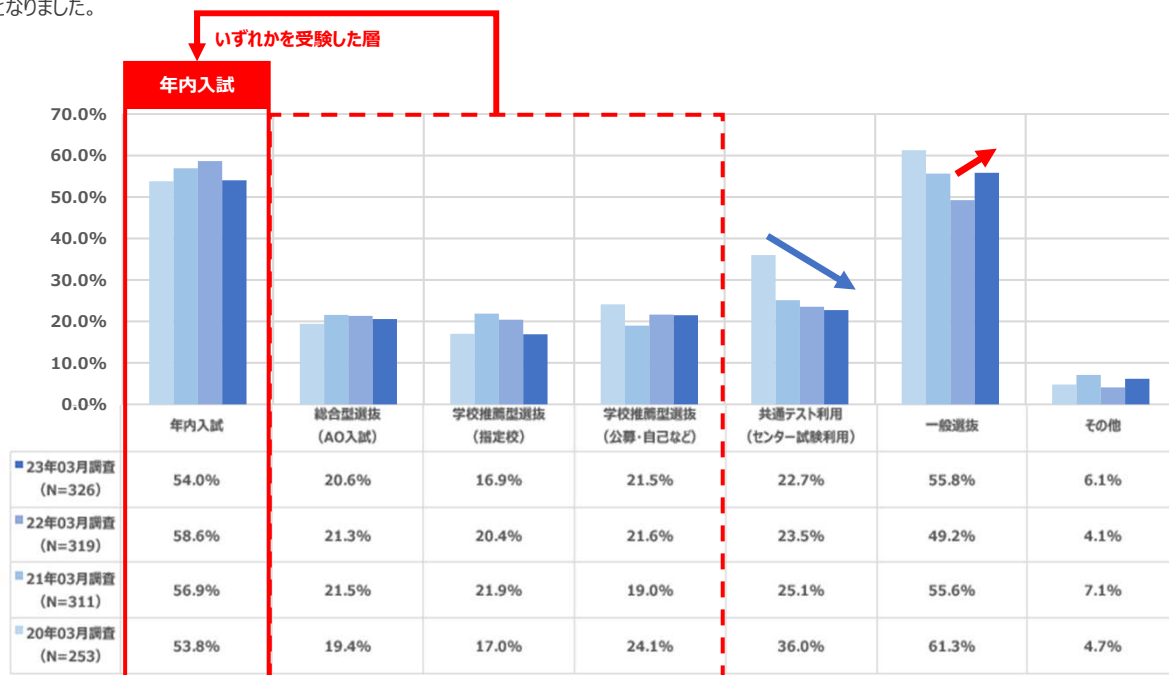
短期大学の進学割合が減少した一方、専門学校は増加していました。

	大学	短期大学	専門職大学・専門職短期大学	専門学校	その他の学校 (大学校・各種学校等)	海外留学	就職	予備校・浪人	パート・アルバイト	その他
23年03月調査 (N=341)	78.0%	1.2%	0.6%	9.4%	0.6%	0.6%	4.1%	4.4%	1.2%	0.0%
22年03月調査 (N=337)	80.4%	2.4%	0.0%	6.2%	0.6%	0.0%	3.3%	5.3%	0.9%	0.9%
21年03月調査 (N=327)	77.7%	3.4%	0.9%	9.2%	0.3%	0.3%	1.5%	3.7%	0.9%	2.1%
20年03月調査 (N=271)	76.4%	3.0%	0.7%	8.1%	0.0%	0.4%	3.3%	5.9%	0.7%	1.5%

(1-2) 受験した入試方式

進学を決定した学校以外も含めて受験した入試方式を尋ねました。(複数回答)

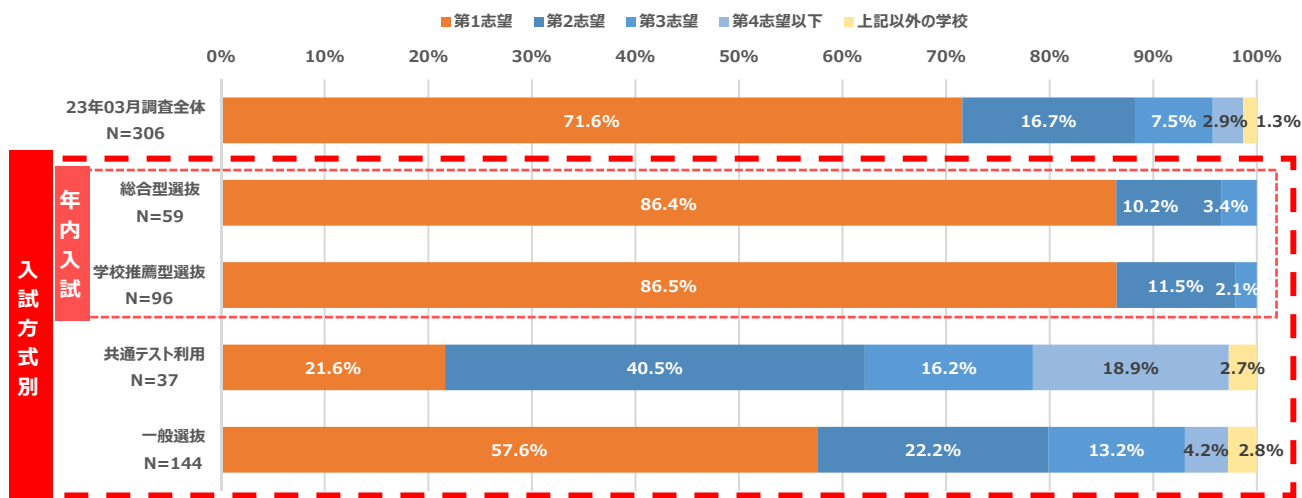
「総合型選抜 (AO入試)」「学校指定型選抜」「学校推薦型選抜 (公募・自己など)」のいずれかを受験した「年内入試」が全体の半数を超えました (54.0%)。「大学入学共通テスト利用入試」については年々減少しています。「一般選抜」は昨年より回復し半数を超え、「年内入試」と同程度となりました。



(1-3) 進学先の受験時の志望度合い

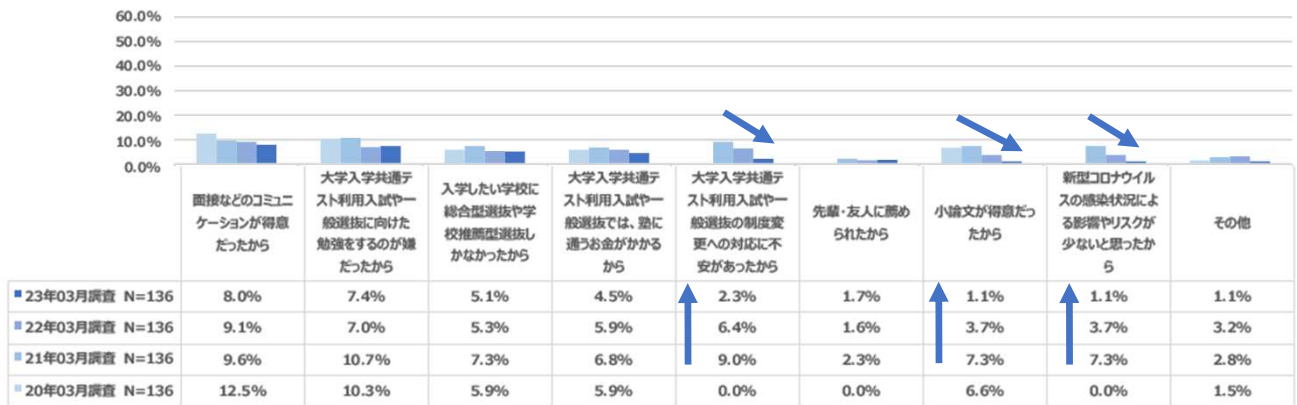
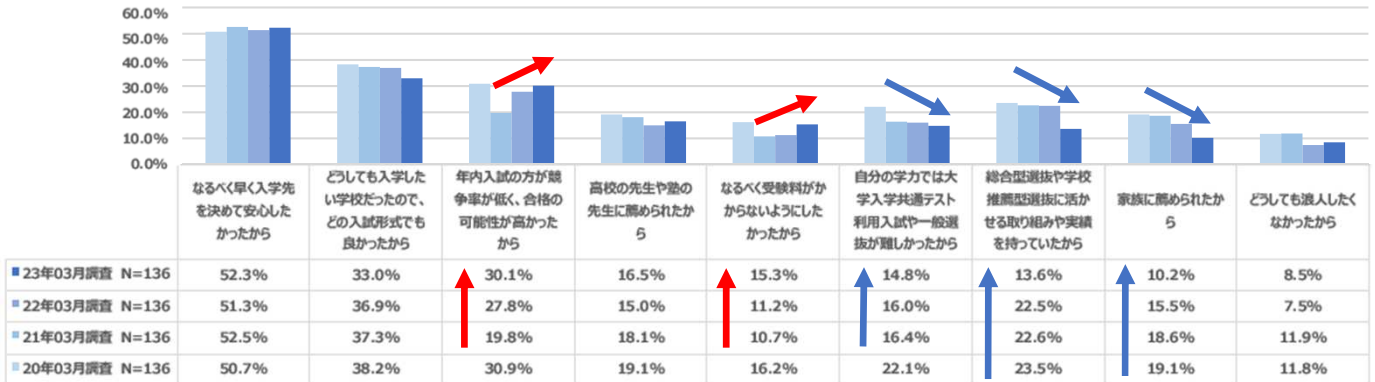
2023年4月からの進学先の受験時の志望度合いを尋ね、利用した入試方式別に比較しました。

全体では7割超が第一志望に進学しています。入試方式別では「総合型選抜」「学校推薦型選抜」の「年内入試」で第一志望への進学割合が高く、一般選抜でも半数を超えています。一方で、共通テスト利用 (大学入学共通テスト利用入試) では2割となり、他の入試方式と比べて低い結果でした。



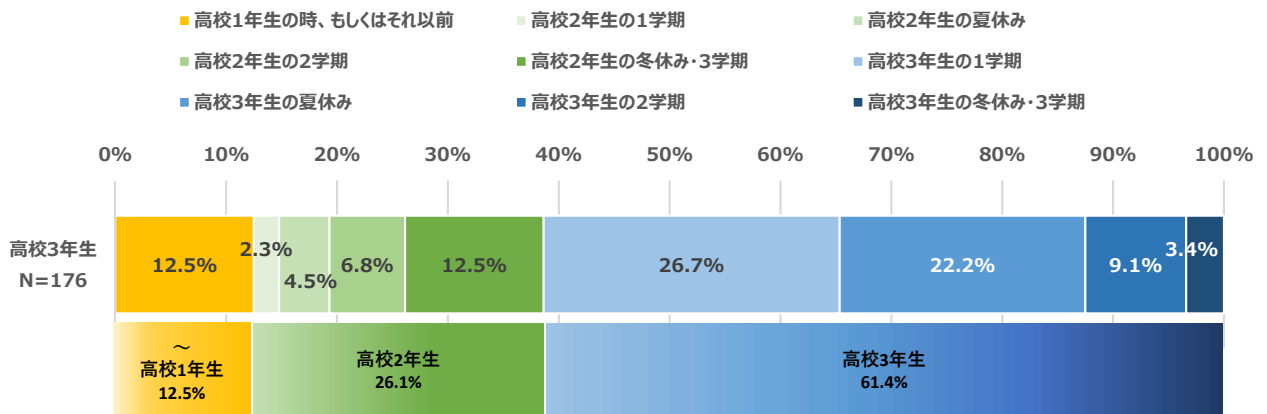
(1-4) 年内入試の受験理由

「総合型選抜（AO入試）」や「学校推薦型選抜（指定校／公募・自己など）」の受験者に、受験した理由を尋ねました。過去のアンケートと同様に「なるべく早く入学先を決めて安心したかったから」が最も高くなりました。「年内入試の方が競争率が低く、合格の可能性が高かったから」と「なるべく受験料がかからないようにしたかったから」などに増加がみられました。年内入試の利用者は、出願に必要な活動履歴や、プレゼン・小論文・面接などの試験形式に対応する能力があるから利用するというより、早く・確実に合格したいという様子が見えます。



(1-5) 総合型選抜を検討し始めた時期

総合型選抜を受験した高校3年生に、受験を検討し始めた時期を尋ねました。「高校3年生の1学期」が26.7%と最多でしたが、4割程度は高校2年生までに検討を始めていました。

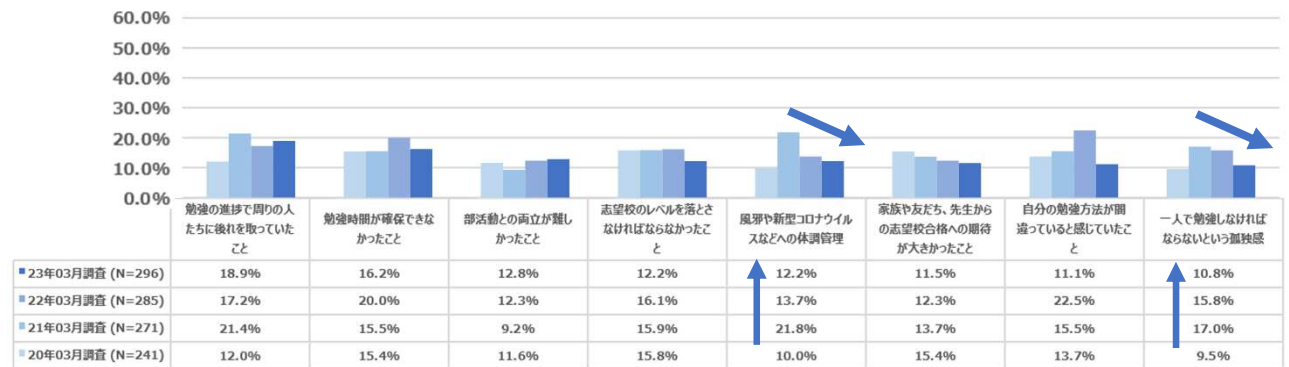
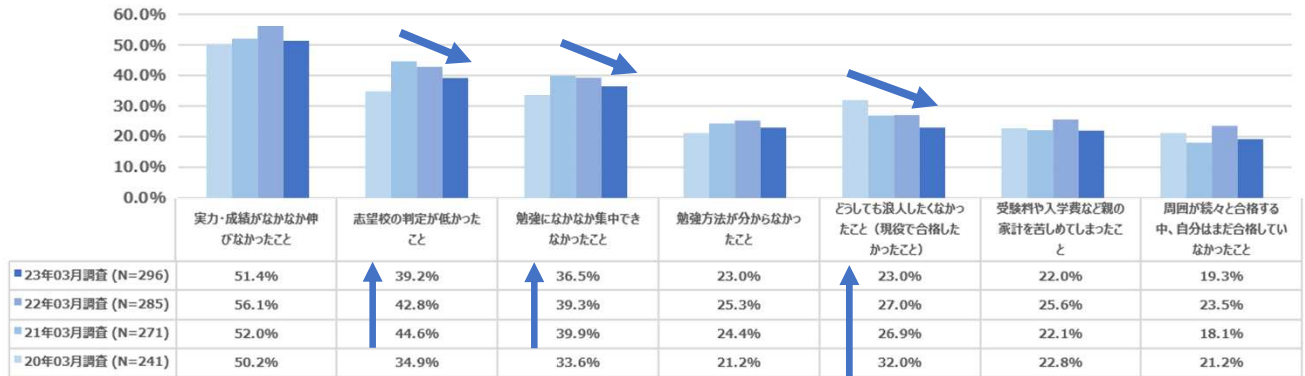


(1-6) 受験について感じていたストレスや不安

受験についてどのようなストレスや不安を感じていたか尋ねました。(複数回答)

「実力・成績がなかなか伸びなかったこと」「志望校の判定が低かったこと」「勉強がなかなか集中できなかったこと」のトップ3項目は変わりませんが、いずれも昨年よりポイント数が低下していました。また「風邪や新型コロナウイルスなどへの体調管理」「一人で勉強しなければならないという孤独感」などといった項目でコロナ禍の影響を受けた最初の高校生への調査となる21年03月調査をピークに低下。「どうしても浪人したくなかったこと(現役で合格したかったこと)」は2021年の大学入学共通テストへの変更の影響を受けて3割を超えた20年03月調査をピークに、2割程度となりました。

また平均回答個数についても、最多であった22年03月調査の4.3個から、今回の23年03月調査では3.6個と低下しました。



平均回答個数

3.6
4.3
4.1
3.7

※20年03月調査の「風邪やインフルエンザなどへの体調管理」は「風邪や新型コロナウイルスなどへの体調管理」に数値を掲載

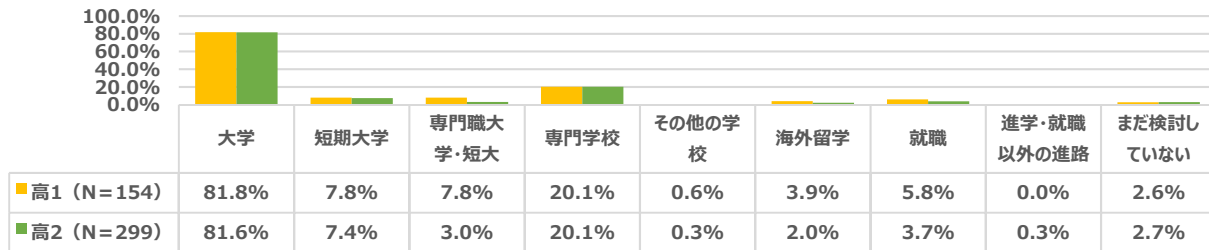
2 高校1、2年生の進路検討状況

(2-1) 検討している進路

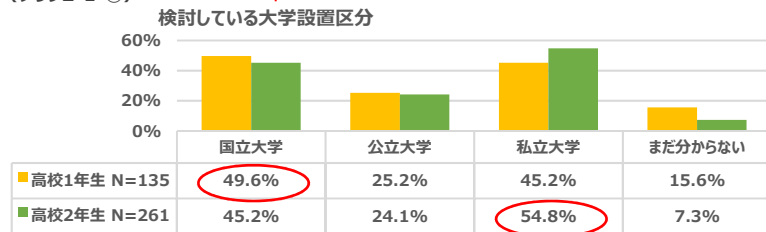
高校1、2年生に卒業後の進路について検討しているものを尋ねました。(複数回答)

2学年とも進学先として「大学」を検討しているのは8割で最も高く、次いで「専門学校」を検討しているのは2割程度となりました。(グラフ2-1-①)

(グラフ2-1-①)



(グラフ2-1-②)



(表2-1-③)

<参考> 高校2年生の過去調査比較

調査	回答数	国立大学	公立大学	私立大学	まだ分からない
23年03月調査	N=261	45.2%	24.1%	54.8%	7.3%
22年03月調査	N=379	40.9%	22.2%	63.9%	6.1%
21年03月調査	N=237	38.8%	20.7%	57.8%	11.4%
20年03月調査	N=273	37.7%	25.6%	61.9%	11.0%

「大学」「短期大学」「専門職大学・短大」を検討していると回答した高校1年生と高校2年生に、検討している大学設置区分を尋ねました。(複数回答)

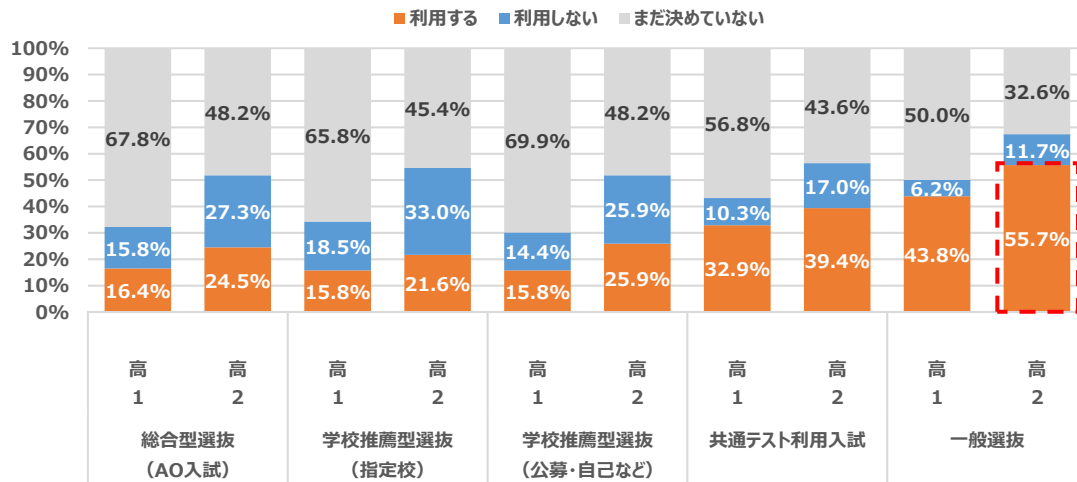
高校1年生では「国立大学」が最多となり、高校2年生では「私立大学」が半数を超え最多でした。(グラフ2-1-②)

また高校2年生では、「国立大学」「公立大学」の検討割合が増加しています。(表2-1-③)

(2-2) 大学受験で利用を検討している入試方式

高校1、2年生に大学受験で利用を検討している入試方式を尋ねました。

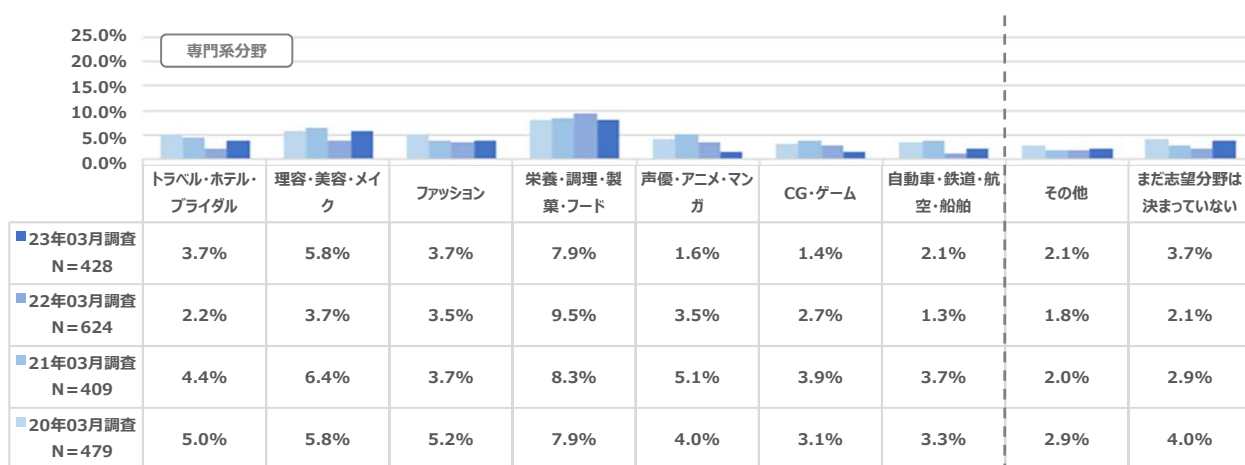
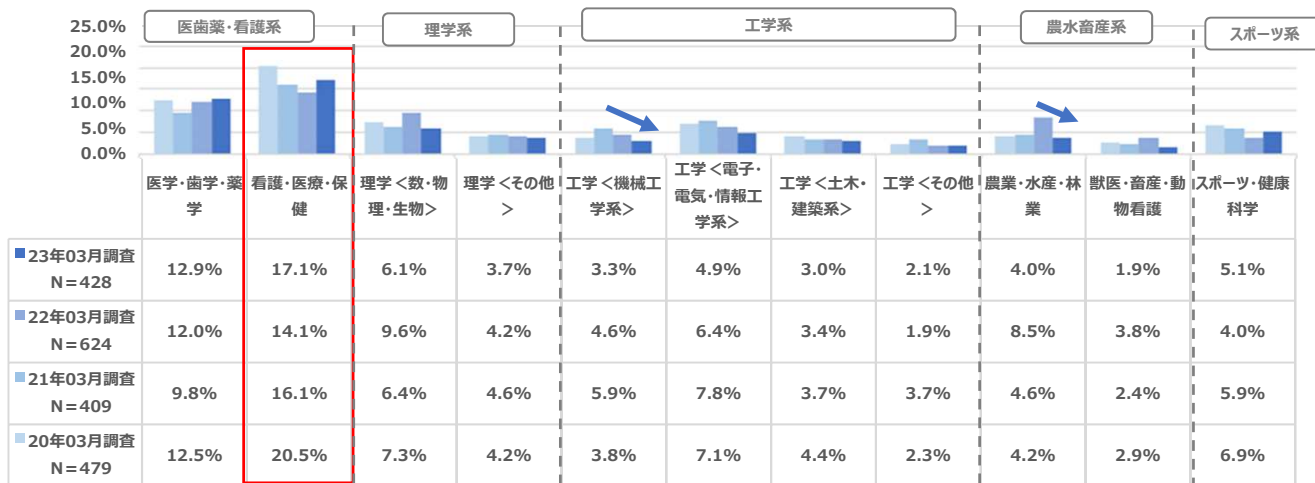
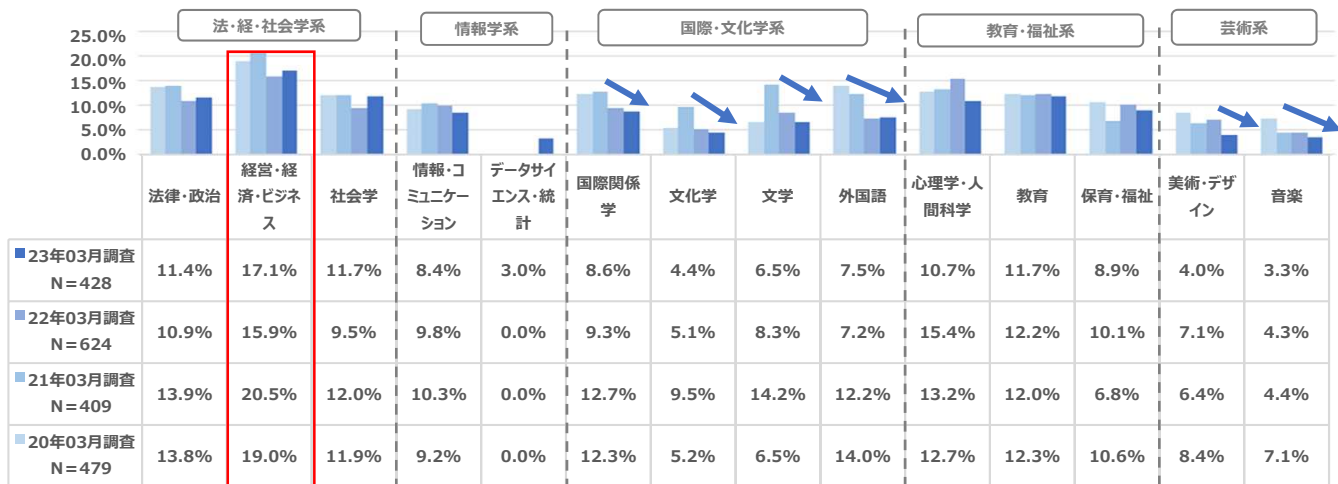
いずれの入試方式も学年が上がるにつれ「利用する」の回答割合が高まり、高校2年生までに各入試方式の利用検討が進んでいる様子が見られます。高校2年生では「一般選抜を「利用する」とした層が半数を超えています。



(2-3) 興味のある分野

高校1、2年生に現在興味をもっている分野を尋ねました。(複数回答)

「経営・経済・ビジネス」と「看護・医療・保健」が上位となりました。「国際・文化学系」はいずれの分野でも低下傾向が顕著です。



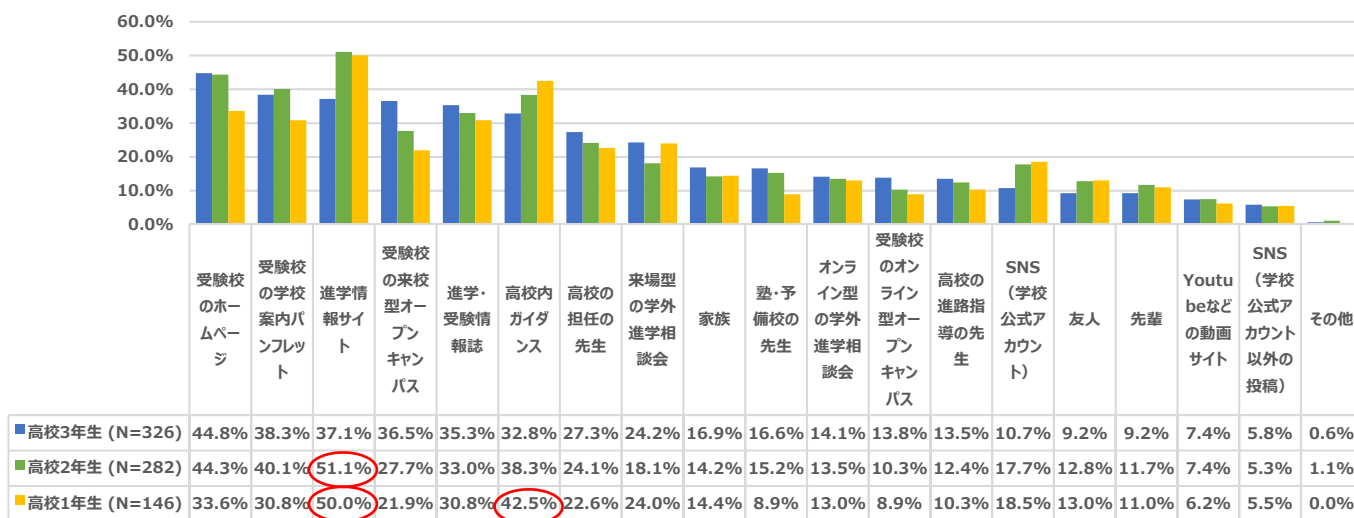
3 志望校・受験校に関する情報収集と進路相談相手

(3-1) 志望校・受験校の情報収集に活用した（している）情報源

志望校・受験校の情報収集に活用した情報源を尋ねました。（複数回答）

高校3年生では「受験校のホームページ」（44.8%）や「受験校の学校案内パンフレット」（38.3%）、「受験校の来校型オープンキャンパス」（36.5%）と、受験校が発信する情報やイベントの活用割合が高い結果でした。

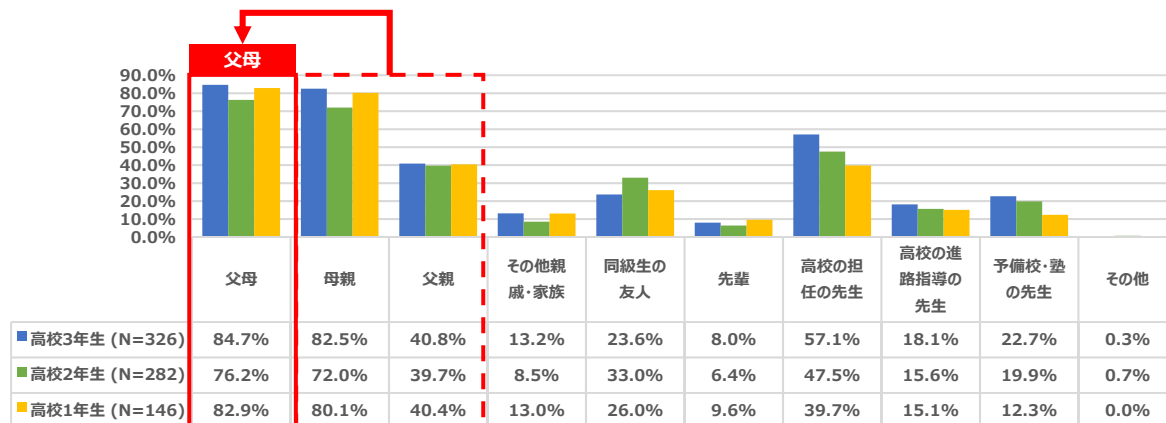
一方で、高校1、2年生では「進学情報サイト」（高1：50.0%、高2：51.1%）が最も高く、高1では「高校内ガイダンス」（42.5%）が次点となりました。これから志望校を選択するという段階において、様々な学校の情報に触れられるような情報源が活用されている様子でした。「SNS（学校公式アカウント）」は低学年ほど活用されています。



(3-2) 進路・受験校について相談する相手

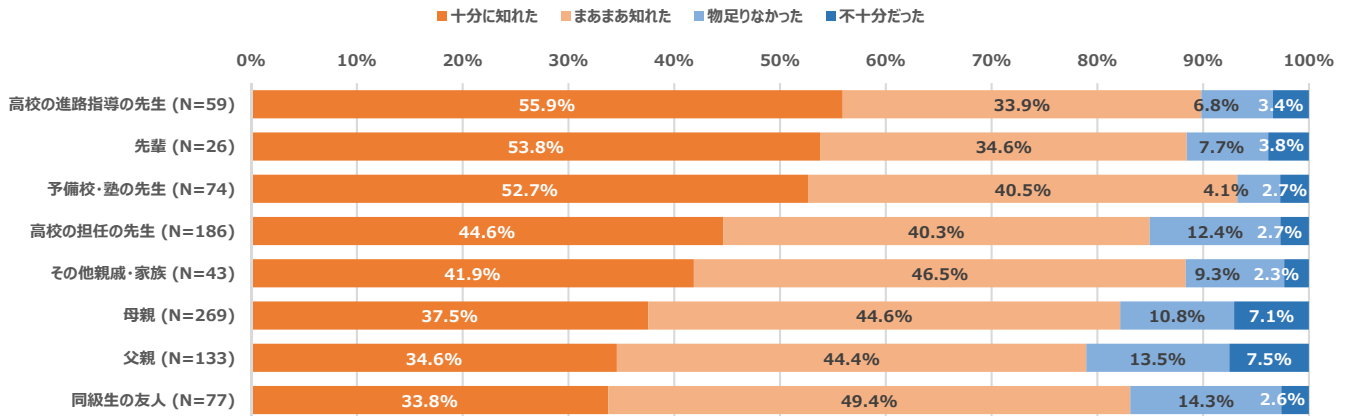
進路や受験校を検討する際に相談する相手を尋ねました。（複数回答）

全学年で「母親」の回答が最も高く、高校3年生では「母親」あるいは「父親」を相談相手としたのは84.7%にのびります。「高校の担任の先生」では、学年が上がるにつれ回答割合も上がり、高校3年生では半数を超えています（57.1%）。



(3-3) 相談相手からの情報充足度合い

高校3年生が前述3-2であげた相談相手からどれくらい知りたい情報を得られたかを尋ねました。知りたい情報を「十分に知れた」の割合では、「高校の進路指導の先生」(55.9%)が最も高く、次いで「先輩」(53.8%)、「予備校・塾の先生」(52.7%)と続きます。一方、相談相手として上位の「母親」や「父親」は、「不十分だった」の回答割合が他の相談相手よりも比較的高くなりました。「母親」「父親」は身近な相手であるがゆえに、志望校の情報や受験の情報を得るというよりも、受験に関する不安や思っていることを聞いてもらう相手となっているのではないのでしょうか。



(3-4) 高校からもっと提供してほしい情報

高校3年生に、自身の高校での進路相談や進路指導において、もっと提供してほしい情報を尋ねました。(自由回答)

先輩の体験談など <ul style="list-style-type: none"> 自分の志望した学科に進んだ先輩の受験体験記が欲しかった 出身校からその大学に通っている先輩の話を知りたかった 具体的な先輩方の情報がもっと欲しかった(エピソードなど) 過去同じ形式で同じ学部を受けた先輩の体験談 	勉強について <ul style="list-style-type: none"> 補習のサポート 大学受験勉強の留意点 どの時期から本格的に勉強するのかや、受験科目について 大学受験でどの参考書を使ったら効果的に勉強出来るのか 入試問題を攻略するためのテクニックについて
出願・入学準備など <ul style="list-style-type: none"> 願書書類をいつ頃までに仕上げればいいのか等の助言 入試までにやっておかなければいけないことや、それらの段取りの情報 受験の全体的な流れについて、もっと早くに知りたかった 受験方法や仕組みを早い段階で説明して欲しい 入学手続きまでサポートが欲しかった 	志望校選択について <ul style="list-style-type: none"> 他の大学で希望する学部にあるかどうかを教えてもらえたら参考になった 同じような偏差値のほかの大学の情報 自分のレベルだとどのくらいのレベルの私立に受かるのか 大学独自の給付型奨学金について、細かい情報があると、選択の参考にできた 志望する分野別にガイダンスを開いて大学を紹介してほしい
その他 <ul style="list-style-type: none"> 各大学の1日のスケジュールや学生の生活スタイルの例など 大学入学後の詳しい勉強内容をもっと知りたかった 学校の雰囲気、どのような人が進学しているか 実際に大学生からの声をもっと聞きたかった オープンキャンパスの予約を取ることが、怖ろしく大変で、サイトオープンと同時に瞬殺で予約枠が無くなることは、もっと早くに知りたかった 共テ利用の学校推薦は共テ後に合否から 前期も後期も滑り止めの私大も受けて無駄な出費があることを知りたかった 先を見据えた人生の先輩としてのアドバイス 	